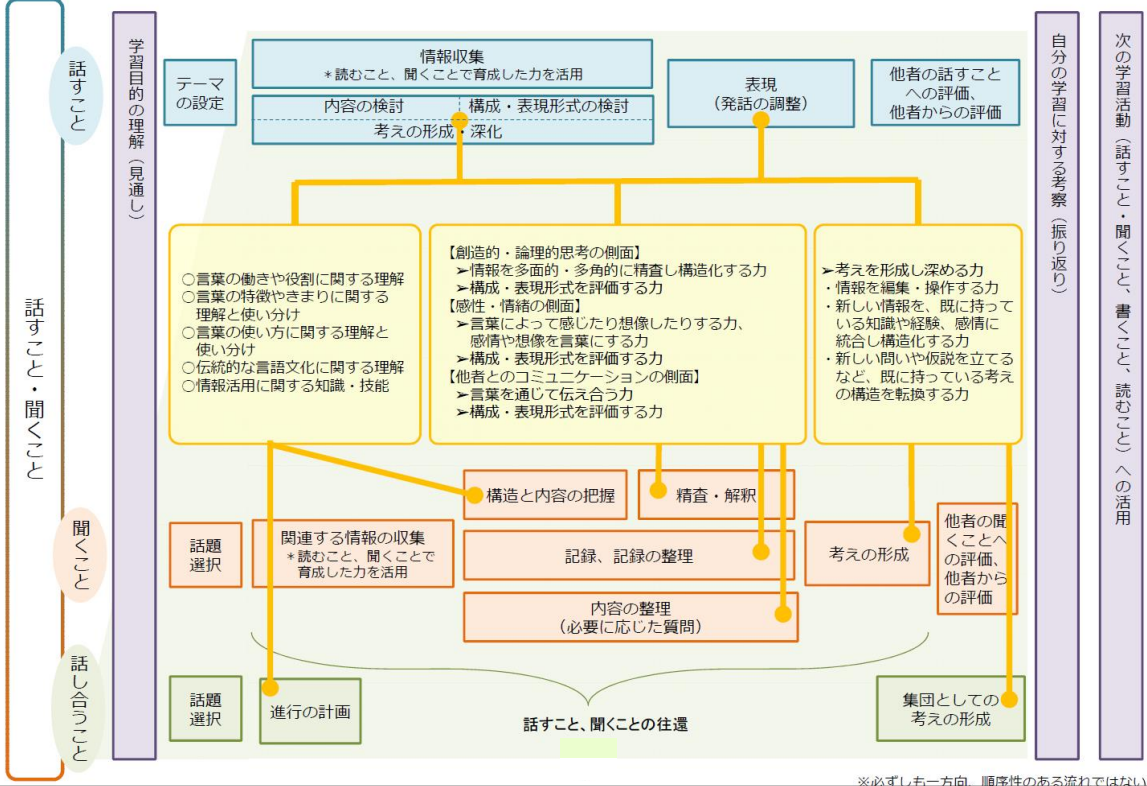
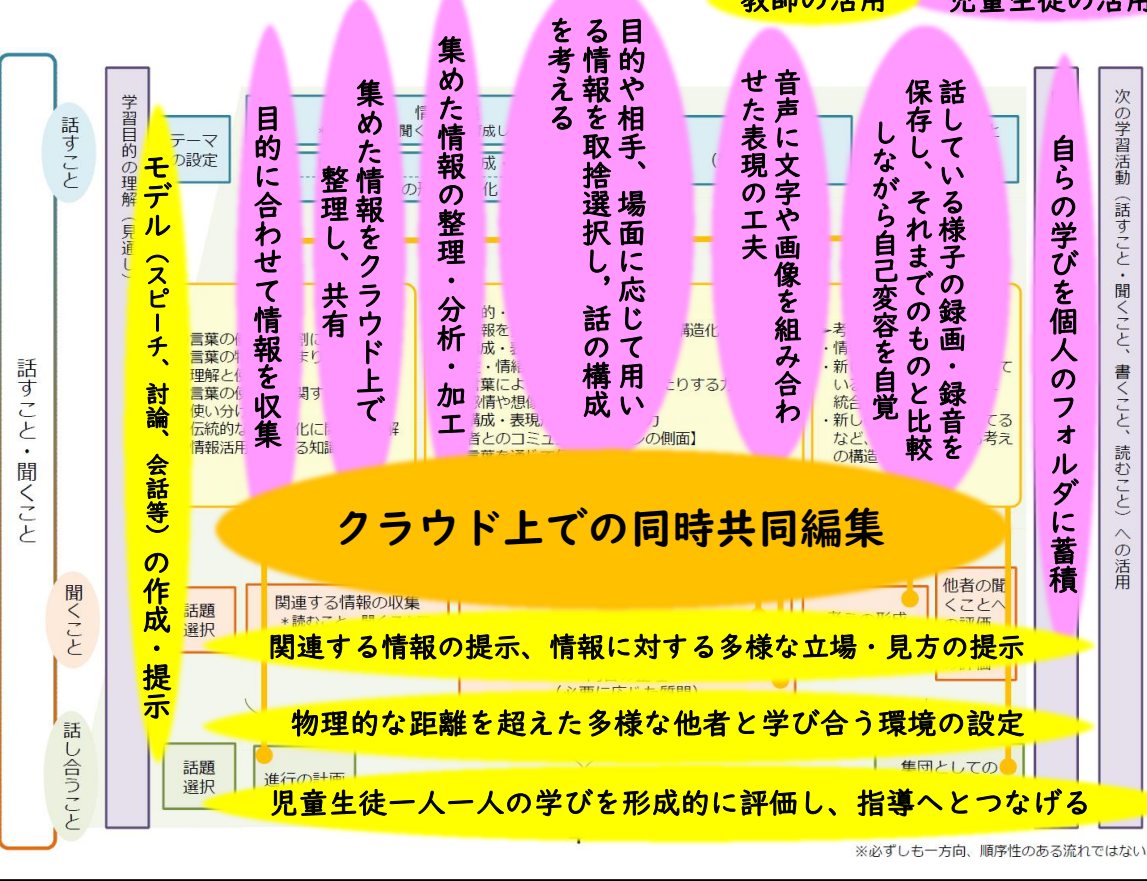


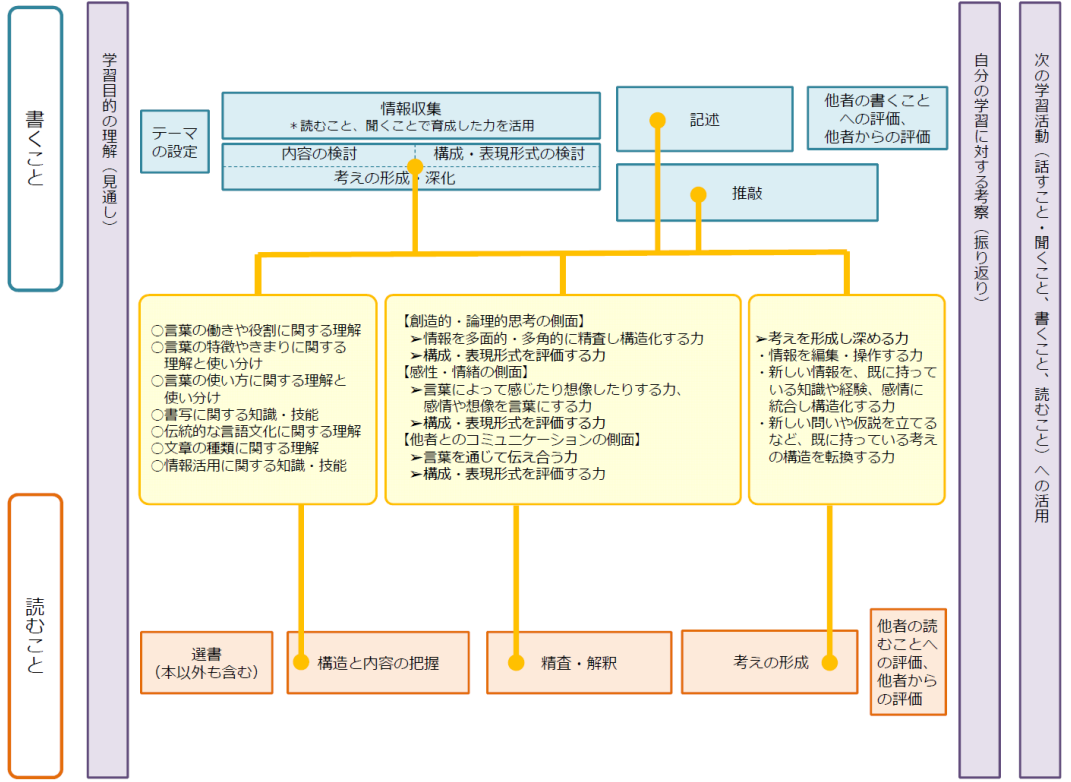
国語科における学習過程のイメージ



国語科におけるICT活用のイメージ



国語科における学習過程のイメージ

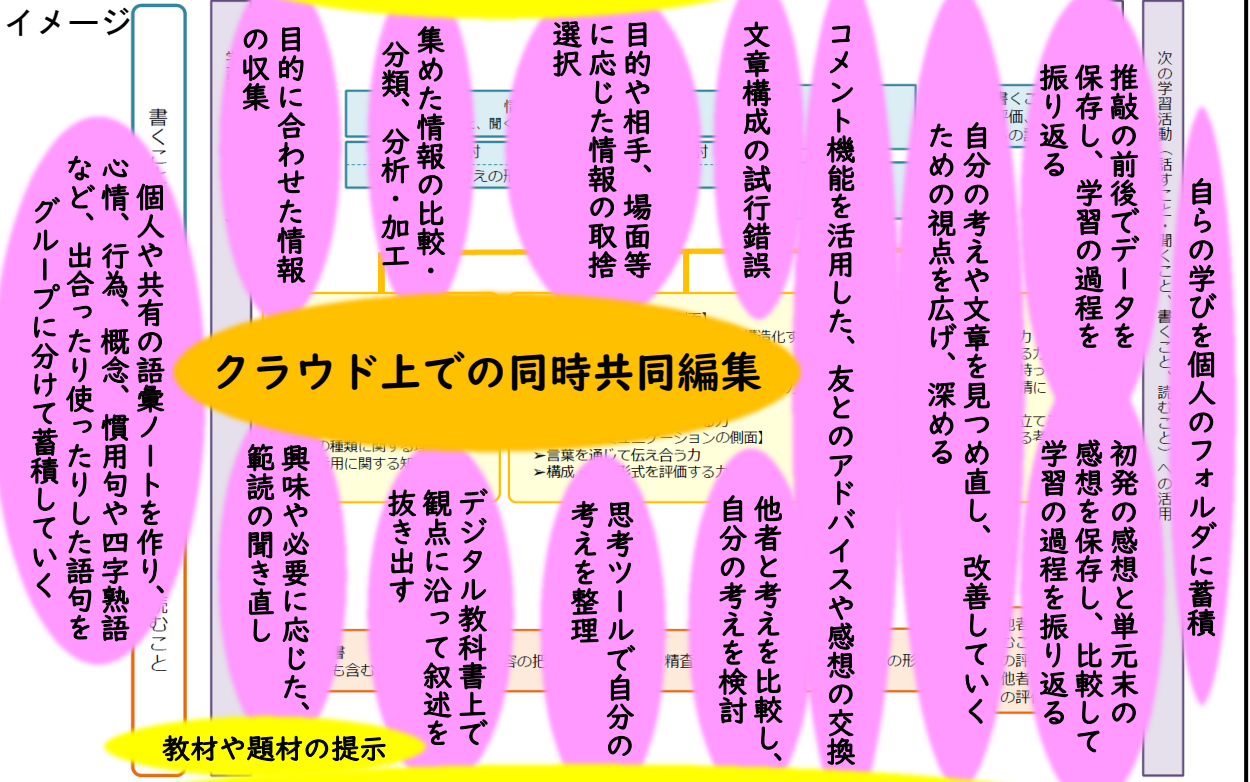


国語科における ICT活用の イメージ

関連する情報と情報に対する多様な立場・見方の共有

教師の活用

児童生徒の活用



見方・考え方：様々な立場で交わされた言葉と言葉との関係を、言葉の根拠の信頼性や妥当性から問い直し、言葉への自覚を高めること

ICTの活用：集めた情報や自分の意見を、オンライン会議システムやクラウドを活用して共有したり、検討したりする

学習場面：自分の考えをより説得力のあるものに練り上げる場面

「整理・分析」に至るまでの流れと次の学びへのイメージ

討論テーマに対する自分の考えを支える根拠を集めた子どもたちが、同じ立場の友と根拠の適切さを吟味したり、異なる立場からその根拠の捉え方を想定したりすることで、伝える内容を吟味する。

写真① 討論のモデルを視聴し、多様な立場や捉え方を想定した主張のよさを具体的につかむ。

①

写真② オンライン会議システムでつながった他校の中学2年生と、自分の考えやそれを支える根拠となる事実を、データで共有した上で、相手に説明している。

②

写真③ 画面を共有しながら、対話を通して自分の考えを深めている。

共有されたそれぞれの根拠となる事実を比較・分類したり、関連付けたりしながら、論点になりそうなものを決め出している。また、論点について異なる立場の捉え方から述べられるであろう意見を想定しながら、伝える内容を吟味している。

③

写真④ 友との対話を通して学んだことを視点に、自分の主張を見直している。

④

この事例のポイント

- ・オンライン会議システムを使って他校の教室とつなぎ、多様な情報、立場や捉え方と出会う場を設定している。
- ・自分の考えやそれを支える根拠などのデータを共有することで、より多様な立場から伝え合う内容を検討することにつながった。



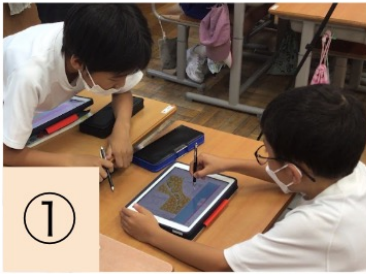
見方・考え方：登場人物の心情の変化を会話文や行動描写にある言葉の意味に着目して捉え、比較して問い直し、言葉への自覚を高めること

ICTの活用：学習カードをデータで配付することで、自分の考えの変化に応じた加除修正や、友との考えの共有がしやすくなる

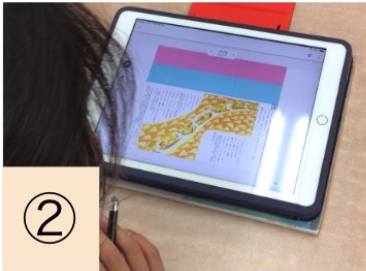
学習場面：おじいさんの気持ちの変化について自分の考えをもつ場面

「整理・分析」に至るまでの流れと次の学びへのイメージ

おじいさんの会話や行動に着目し、捉えた心情について前の場面と比較し、前向きになったのか、後ろ向きになったのか、変わらないのかについて考えることで、気持ちの変化について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像していく。



写真① おじいさんの心情について、前向きになっていれば赤い線、後ろ向きになっていれば青い線、判断が難しければ黒い線を、タブレット上の学習カードにある本文の叙述に引く。お互いに見合いながら対話が始まる。それまでの線は保存した上で、対話を通して考えたことを加除修正していく。



写真② 線を引いた叙述と対応させながら、本文の上に配置された心情グラフへの記入を考える。グラフの始点や終点、上がり（下がり）方や上がり（下がり）幅について考え、それぞれに記入を進める。前時までの学習カードを何度も見返したり、見比べたりしながらグラフを記入していく。



写真③ 電子黒板に学習カードを映しながら、自分がかいた心情グラフについて、その根拠となる叙述や、どのように読み取ったか等を発表し全体で共有する。

この事例のポイント

- ・学習カードをデータ化し、画面共有しながら友とやりとりすることで、対話を通して考えたことを学習カードに反映させやすくしている。
- ・前時までの学習カードを、一覧表にしたり順番に並べたりすることで、登場人物の気持ちの変化について考えやすくなり、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像することができた。